

令和2年度国民参加による気候変動 情報収集・分析事業

那須塩原市気候変動適応センター

令和2年度国民参加による気候変動情報収集・分析事業

那須塩原市

情報収集

- 農業関係者（農業従事者、営農指導者等）へのヒアリングによる情報収集
- 観光業関係者（観光業従事者、観光協会等）へのヒアリングによる情報収集
- 教育関係者（市教育委員会、学校4校）へのヒアリング、養護教諭へのアンケートによる情報収集、学校における気温等の情報収集（1校）
- 防災関係者（市防災担当部局、森林管理者等）へのヒアリングによる情報収集
- 市民向けオンラインワークショップによる情報収集

分析・整理

- 宇都宮大学等の専門家の協力のもと、データ整理、分析及び文献調査等による科学的妥当性の確認
- 自然を利用した適応策（EbA）について、文献調査等による追加的な情報収集

普及啓発等

- リーフレットの作成、配布
- ホームページ、広報誌への掲載
- 学習教材としての活用

スケジュール

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
情報収集				↔	↔					
分析				↔	↔					
普及啓発							↔	↔	↔	↔

実施体制



那須塩原市気候変動適応センター
(那須塩原市の府内組織)

情報収集の内容 その1

分野	方法／対象	調査項目の例
農業 (実施中)	ヒアリング 耕種農家 20軒 酪農家 10軒 酪農事業者 1事業者 農協・酪農協 4組合	実体験に基づく気候変動の影響 作物等の収量や品質の変化 病害虫の発生状況の変化 雑草の発生状況の変化 乳牛への影響とその対策 今後の営農に対する不安
観光業 (実施中)	ヒアリング 市観光局 温泉旅館 5軒 アクティビティ 4事業者 観光施設 3箇所	実体験に基づく気候変動の影響 既に実施している適応策 気候変動に対する懸念事項 今後必要になると思われる対策

情報収集の内容 その2

分野	方法／対象	調査項目の例
教育 (実施済)	ヒアリング 市教育委員会 小中学校 4校(うち 1校で気温等を測定) アンケート 養護教諭 30人	児童生徒の体調面への影響 学校生活への影響 熱中症の発生状況 熱中症対策の状況 風水害の影響・対策 気候変動に関する学習状況 気候変動に対する懸念事項・課題
防災 (実施済)	ヒアリング 市関係課 2所属 森林組合 2組合 土地改良区 1団体	過去の災害の被害・対策状況 防災拠点の活用状況 道路の保全・管理状況 森林の保全・管理状況 森林の土壤崩壊の状況と対応策

情報収集の内容 その3

分野	方法／対象	調査項目の例
市民生活 (11月実施予定)	オンラインワークショップ 一般市民 20人	地域での影響事例 地域でできる適応策

※情報収集が終了した分野から、順次、分析・整理を行っている
(分析・整理については、12月末完了を目標)

本事業を通して見えてきた

基礎自治体の地域気候変動適応センターの役割

気候変動を切り口として
地域課題を解決する